

グループ技術力向上

大豊建設

大豊建設は10月31日、東京都中央区の本社ビルで第24回の技術フォーラムを開催した。約100人が参加し、生産性の向上に関する取り組みや新技術の紹介、難易度の高い現場での施工事例など計11テーマ(土木7件、建築4件)の内容を共有。テレビ会議システムで各支店に同時配信するなど、グループ全体の技術力の向上とさらなる技術開発の促進を狙い。

冒頭、あいさつした大隅健一社長は「これまで開発してきた画期的な技術が会社の経営を支えている。技術力のない会社は淘汰(とつた)される。いま持っている技術を進化させながら、その技術をきちん并使用いこなす技術者を育成していくことがわれわれの責務になる」と強調。「創意工夫が技術開発の原点。(発表の内容から)いろいろなヒントを得て、今後の



技術開発につなげてほしい」と述べた(写真)。

技術フォーラムの委員長を務める今井和美常務執行役員は近年、激甚化・頻発化している自然災害を例に「これらの対策は急務。建設技術者、建設企業の役割はますます大きくなっている」と指摘。

「(技術発表の内容は)グループにとつての貴重な財産。これらの技術をさらに発展できないか、新たな技術開発に結び付けられないか、そういった視点を持って参加してほしい」と呼び掛けた。